鬼の手形が残る巨石

北山・三ツ石エリア

学習のポイント
1 岩手の名前の由来について調べてみよう
2 国の天然記念物の桜について調べてみよう

学ぶことのできるSDGsの例



近くの「かむら屋」で「鬼の目玉」というお菓子が食べられる

見る 三ツ石神社 A

「岩手」の名前の由来となった伝説が残る神社であり、「さんこ踊り」の発祥の地といわれる。境内にある花崗岩には、鬼の手形が残っている。
住 名須川町2-1



見る 光台寺（ムカデ姫の墓） A

昔、先祖がムカデ退治に使った矢の根を持って南部家に嫁いだ於武の方がでくなると、悪いことが重なった。人々はムカデの怨霊のせいだと噂し、於武の方を「ムカデ姫」、墓を「ムカデ姫の墓」と呼ぶようになったという。
住 名須川町8-4

鬼の手形伝説

悪事を働いていた鬼に困った村人がミツ石の神さまに退治をお願いした。捕らえられた鬼は、懲さをしないと誓い、その証として岩に手形を押して去っていった。神さまに感謝した村人は、岩の周囲で「さんさ さんさ」と踊ったのがさんさ踊りの始まりとされ、岩に手形を押したので「岩手」と呼ばれるようになったという。

モデルコース
所要時間：約３時間





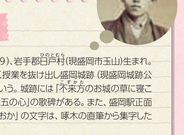
見る 龍谷寺 A

敬人・石川啄木の伯父が住職を務めていた寺。少年時代の啄木もたびたび訪れていたといわれる。境内にあるモリオカシダレは、国の天然記念物。
住 名須川町7-2
時 9:00 ～ 16:00 休 無休 電 019-622-8144



見る 報恩寺（五百羅漢） A

曹洞宗の古刹。羅漢堂には、京都の9人の仏師によってつくられた羅漢像がある。なかには、マルコ・ポーロやフビライとといわれている像も見られる。製作は、1731年（享保16）から始まり、4年の歳月がかかったという。
住 名須川町31-5
時 9:00～16:00(入館15:30まで)
休 無休 電 019-651-4415
¥ 拝観料（羅漢堂）／中学生以上300円 小学生100円



見る 石割桜 C-3c

周囲 21m の巨大な花崗岩を割って育つエドヒガンザクラ。落雷によってできた割れ目に種子が入り芽を出したという伝説がある。幹の周囲 4.6m、高さ 10.6m で、推定樹齢 360 年以上といわれ、国の天然記念物に指定されている。



見る 紺屋町番屋 C-3d

1891年（明治24）盛岡消防よ組番屋として現在地に建てられ、1913年（大正2）に消防組第四部事務所として改築されたものが、現在の建物といわれる。2007年（平成19）まで消防団第五分団の番屋として使用されていた。望楼を持ち、大正年間の木造洋風事務所建築の典型といわれる。
住 紺屋町4-33



新渡戸稲造

優れた国際感覚を備えた学者・思想家で、「武士道」の著者。1920年（大正9）には国際連盟の事務次長に就任。「願わくはわれ太平洋の橋とならん」という言葉を残す。



見る 新渡戸稲造生誕の地 C-3d

新渡戸稲造は現在の下ノ橋町に生まれ、子どもの頃に遊んでいたという盛岡城跡公園には生誕100年を記念した碑が建てられている。

見る 岩手銀行赤レンガ館 C-4d

東京駅も手がけた辰野金吾・葛西萬司建築事務所が設計して 1911 年（明治 44）に建立。赤レンガと白い花崗岩の帯が美しく、国の重要文化財に指定されている。
住 中ノ橋通1-2-20 時 10:00～17:00（入館は16:30まで） ¥ 入館料／小・中100円（岩手銀行ゾーンは無料） 休 火曜、12月29日～1月3日 電 019-624-8212

石川啄木

歌人。1886年(明治19)、岩手郡日戸村(現盛岡市玉山)生まれ。盛岡中学時代にはよく授業を抜け出し盛岡城跡（現盛岡城跡公園）を散歩していたという。城跡には「不来方のお城の草に寝ころびて空に吸はれし十五の心」の歌碑がある。また、盛岡駅正面の壁に書かれた「もりおか」の文字は、啄木の直筆から集字したもの。

啄木歌碑（盛岡城跡公園）



学ぶ もりおか歴史文化館 C-4c

1階では盛岡の観光情報や伝統文化の紹介、2階では城下町盛岡のなりたちや、盛岡藩主南部家に関する資料を展示。ここを見学してから、散策を始めるのがオススメ。
住 内丸1-50
時 4月～10月 9:00～19:00（11月～3月は18:00※2階の最終入館は閉館の30分前）
休 第3火曜（祝日の場合は翌日）、12月31日、1月1日
電 019-681-2100
¥ 入場料／小・中 100 円（2 階のみ、1 階は無料）

学ぶ 宮沢賢治のモニュメント C-2b

材木町の通りには賢治の作品をモチーフにした「春風」「詩碑」「銅像」「望遠」「花巻」「石座」の6つのモニュメントが道の両側に点在し、ファンタジーの世界に触れることができます。

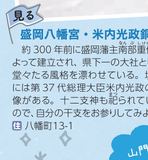


学ぶ 光原社 C-2b

宮沢賢治が生前唯一刊行した童話集「注文の多い料理店」を発行したのが光原社。出版の地の碑が残るほか、奥庭の蔵には賢治の作品が揃かれている。現在は、日本有数の民芸品店として有名。

宮沢賢治

1896年(明治29)、花巻生まれ。盛岡中学(現盛岡一高)に入学し、盛岡高等農林学校(現岩手大学農学部)へ。多感な青春時代を盛岡で過ごした。材木町には、賢治とその作品にちなんだ彫刻などが並んでいる。



見る 材木町裏石組 C-2a

岩手町・紺町と呼ばれていたが、材木町と改められた。北上川を使った舟運により、材木商が盛んだったことからこの町名になったという。北上川沿いに明治年間の石組が残っている。



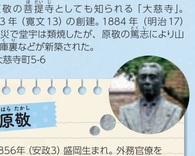
食べる 福田パン長田町本店 C-1c

盛岡のソウルフードともいえる「福田パン」。長田町本店では、その場で好きなフィリングや惣菜を挟んでくれる。定番はあんバター！オリジナル野菜サンドに揃り焼きチキンもおすすめ。
住 長田町12-11 時 7:00～17:00
休 盆・年末年始 電 019-622-5896



見る 啄木新婚の家 C-2b

啄木が妻・節子との新婚生活を始めた家。随筆「我が四畳半」に当時の様子が書かれている。
住 中央通3-17-18
時 9:00～17:00（12月～3月は 10:00～16:00）（変更になる場合があります）
休 12月28日～1月4日
4月～11月：火曜、12月～3月：火曜・水曜・木曜
電 019-624-2193



母なる川・北上川ぞいを散策

材木町エリア

学習のポイント
1 宮沢賢治・石川啄木の 生涯について調べてみよう

学ぶことのできるSDGsの例



モデルコース
所要時間：約2時間30分



クラシカルな盛岡町家が建ち並ぶ

鉈屋町・八幡宮エリア

学習のポイント
1 原敬の生い立ちについて調べてみよう
2 今も地域で利用されている大慈清水・青龍水について調べてみよう

学ぶことのできるSDGsの例

学ぶ 昭和旭蔵（あさ開） B

伝統の手づくり工程と近代工程の2つの方法で酒造りをする「あさ開」。昭和旭蔵は白壁と黒瓦の外観が特徴。酒蔵見学も受け入れている。
住 大慈寺町10-34
時 9:00～16:00 (受付 15:30)
冬期間(11月下旬～3月下旬)
9:00～15:30 (受付 15:00)
休 不定休
電 019-652-3111





見る 盛岡八幡宮・米内光政銅像 B

約 300 年前に盛岡藩主南部重信によって建立され、県下一の大社として堂々たる風格を漂わせている。境内には第 37 代総理大臣米内光政の銅像がある。十二支神も祀られているので、自分の干支をお参りしてみよう。
住 八幡町13-1

見る 大慈寺・原敬墓所 B

原敬の菩提寺としても知られる「大慈寺」。1673 年（寛文 13）の創建。1884 年（明治 17）の火災で堂宇は類焼したが、原敬の篤志により山門や庫裏などが新築された。
住 大慈寺町5-6

原敬

1856年 (安政3) 盛岡生まれ。外務官僚を退官後、立憲政友会の創設に関わり、幹事長を経て総裁に。1918年 (大正7) には第19代総理大臣に就任し、「平民宰相」として世論の支持を得た。1921年 (大正10)、東京駅で暗殺される。遺言により、大慈寺の墓所に眠る。





学ぶ もりおか町家物語館 B

盛岡市の景観重要建造物「浜藤の酒蔵」を改修してつくられた施設。昔の商家の名残を留める盛岡町家の構造を学べるほか、昭和の調度品などを展示・見学ができる。
住 鉈屋町10-7
時 9:00 ～ 19:00（最終入館 18:30）
休 第4火曜（祝日の場合は翌日）、12月 29 日～ 1月 3 日
電 019-654-2911



学ぶ 盛岡山車資料館 B

盛岡八幡宮境内にあり、盛岡の無形民俗文化財である盛岡山車行事に関する資料を展示。
住 八幡町13-1
時 土・日曜・祝日 10:00～15:00
(平日は事前予約)
電 019-654-4895



見る 盛岡町家 B

江戸から明治にかけて北上川水運や街道の要所として栄えた鉈屋町には、食住一体となった町人の住まい「町家」が、当時の面影を街並みに残している。「青龍水」「大慈清水」の2つの湧き水は今も、人々の暮らしに使用されている。



見る 十六羅漢 B

江戸時代、盛岡藩の四大前賢といわれる大火凶作が起こり、その犠牲者を供養するために建立された石仏。1849 年（嘉永2）に彫ました。境内には、クリの木から桜の枝が伸びた「桑割桜」という珍木がある。



見る 大慈清水・青龍水 B

鉈屋町・大慈寺町界隈には、二つの湧き水があり、生活用水として使用されている。清水場は、飲み水、米とぎ水、洗い場、足洗いに仕切られている。平成の名水百選。





散策拠点

プラザおでって ☎ 019-604-3305

「おでって」とは、盛岡弁で「おいでください」という意味。
2階に観光文化情報プラザがあり、盛岡散策の相談にのってくれる。
[開館時間] 9:00 ～20:00
[休 館 日] 第2火曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

もりおか歴史文化館 ☎ 019-681-2100

1階にまちなか情報センターがあり、「まち歩き・城巡り」の拠点になる場所。
[開館時間] 4月 ～10月 9:00～19:00（11月～3月は18:00）
※2階の最終入場は閉館の30分前
[休 館 日] 第3火曜（祝日の場合は翌日）、12/31、1/1